

テーマ CO₂の発生が少ない低炭素型まちづくり

見直しにあたってのテーマ別議論のポイント

議論のポイント	資料2 (A3サイズ)
－ 現況、国、東京都などの動向 －	P1～5
－ 低炭素都市づくりガイドラインにみる低炭素都市づくりの考え方 －	P6
論点の総括	P7
① A. 集約型の都市構造(コンパクトな都市づくり)と交通	P8～11
② B. エネルギー分野の取り組みを考えるに当たって	P12
③ C. みどり分野の取り組みを考えるに当たって	P13
-1 どこを守るのか？	P14
-2 どう守るのか？	P15～17
④ ヒートアイランド対策の扱いは？	P18
⑤ 地球温暖化にも係る「循環型都市づくり」の扱いは？	P19
参考：他市の都市計画マスタープランにおける地球温暖化の位置づけ例	P20

市民の意見（懇談会等からいただいたもの）

1 公共主導すべきこと

●CO2の発生の少ない土地利用、施設・機能配置

- ・施設の集約配置

など

●自動車交通の削減等

- ・自動車からの転換
- ・電気自動車の普及

など

●節電、施設の排出削減

- ・自然エネルギー活用
（太陽光、風力）
- ・スマートメーター

など

●資源循環(3R)

- ・ごみ削減
- ・既存施設の有効活用

など

●緑化・風の道

- ・公共施設の緑化
- ・街路樹、校庭の芝生化
- ・暗渠⇒開渠で風を流す

など

●排出権取引

・

2 家庭ですべきこと …… 緑化、井戸水活用、3R、
省エネや自動車利用の課題は都市計画でも対応を

3 企業に対しては …… 大企業の緑化の義務づけ

4 団地では …… カーシェアリングや地域冷暖房の導入